

昭和56年度事業記録
Report on the Activities in Fiscal 1981

1. 特別展記録 Special Exhibitions

アングル展

1981年4月28日～6月14日

主催：国立西洋美術館，国立国際美術館，日本放送協会

出品内容：絵画24点，水彩素描98点，参考作品7点，計129点

(1981年6月23日～7月19日，会場：国立国際美術館)

Ingres

28 April—14 June 1981

Exhibited works: 24 paintings, 98 drawings and watercolours, and 7 reference works from the Musée Ingres and other museums in France and in U.S.A. (129 works in total)

本展は、我が国における初めてのアングル展として、モンターパンのアングル美術館所蔵の作品を中心に、アングルの作品122点、ブールデル作のアングルの胸像など参考作品7点を展示した。《泉》《ナポレオンの肖像》《オシアンの夢》《ゴンス夫人》などの油彩画もさることながら、百点近い素描は、優れた素描家としてのアングルの特質を良く示してくれた。なお本展は日本放送協会と共催した初めてのケースであり、放送による宣伝の効果等についても興味深いものがあった。

モーリス・ドニ展

1981年9月1日～10月18日

主催：国立西洋美術館

出品内容：絵画85点，水彩素描59点，版画30点，書籍7点，計181点

(1981年10月30日～12月13日，会場：京都国立近代美術館)

Maurice Denis

1 September—18 October 1981

Exhibited works: 85 paintings, 59 drawings and watercolours, 30 prints and 7 books from museums and private collections in France, Switzerland, W. Germany, the Netherlands and U.S.A. (181 works in total)

松方コレクションの中に油彩17点，素描18点が含まれているモーリス・ドニについて展覧会を開催したいというのは当館の数年来の構想であったが，それが，画家の長男ドミニク・モーリス・ドニ氏をはじめとするドニ家の方々の全面的なご協力の下に，今日望み得る最高の形で実現した。

出品作は、18歳の《自画像》から晩年のものまで、ドニの生涯にわたる各ジャンルの作品が、フランス、スイス、西ドイツ、オランダ、アメリカから集められた。その中には、屏風形式のもの、扇面に描かれたもの、壁画やステンドグラスや壁紙の下絵、本の挿絵なども含まれ、ドニの活動の幅広さを充分示してくれる展覧会となった。

エミール・ノルデ展

1981年10月31日～12月13日

主催：国立西洋美術館，東京ドイツ文化センター，東京新聞
出品内容：絵画32点，水彩素描106点，版画47点，計185点
(1982年1月16日～2月7日，会場：北海道立近代美術館)

Emil Nolde

31 October—13 December 1981

Exhibited works: 32 paintings, 106 drawings and watercolours and 47 prints from the Stiftung Seebüll Ada und Emil Nolde (185 works in total)

本展は、北独ゼービュルのノルデ財団の所有になるエミール・ノルデの数多くの作品の中から185点を展示したもの。ノルデ財団のコレクションはゼービュルにおいて美術館として公開される他、これまでも欧米各地でまとめて展覧されているが、今回はそれらの欧米各地での展覧会とほぼ同規模で我が国において公開されたもの。激しい色彩とタッチを見せる油彩画に加え、深い滲みの効果をもった水彩画や大胆な手法を示す版画などが、これまで我が国では余りなじみのなかったノルデの芸術を良く伝えてくれた。

2. 文化庁巡回展記録 Tour Exhibitions

国立美術館所蔵 内外美術名品展

1981年10月7日～21日（青森），10月28日～11月11日（岩手），11月18日～12月2日（福島）

主催：文化庁，東京国立近代美術館，京都国立近代美術館，国立西洋美術館，国立国際美術館，弘前市立博物館，岩手県民会館，福島県文化センター他

会場：弘前市立博物館，岩手県民会館，福島県文化センター

出品内容：当館より絵画17点，彫刻3点を出品（全60点）

文化庁巡回展は本年度で2年目となった。本年は京都国立近代美術館，国立国際美術館が当番館となったので，当館は所蔵作品を出品するにとどまった。



3. 講演会記録 Lectures

〈アングル展〉特別講演会

1981年5月23日

「アングルとその時代」

東京大学助教授 阿部良雄

5月30日

「アングルの油彩画について」

栃木県立美術館長 大島清次

6月6日

「アングルの素描について」

国立西洋美術館研究員 有川治男

〈モーリス・ドニ展〉特別講演会

1981年10月3日

「モーリス・ドニとナビ派」

美術評論家 中山公男

10月17日

「モーリス・ドニと日本の美術」

国立西洋美術館学芸課長 富山秀男

〈エミール・ノルデ展〉特別講演会

1981年10月31日

「エミール・ノルデの人と芸術——出品作品を中心に」

ノルデ美術館長マルティン・ウルバン(通訳 泉 昌子)

11月14日

「エミール・ノルデの芸術——油彩画を中心に」

法政大学教授 野村太郎

11月21日

「描かれざる絵」

国立西洋美術館研究員 有川治男

11月28日

「ノルデと表現主義の版画」

国立西洋美術館主任研究官 八重樫春樹

4. 修復記録 Restoration

| 所蔵作品番号／作家名／作品名／材質・寸法 | 修復前の作品状態概要 | 修復処置概要 |
|--|---|--|
| P・1959-107 ポール・ゴーガン 《画家スレヴィンスキーの肖像》 油彩 カンヴァス 53.5×81.5 cm | 絵具層に部分的に微細な亀裂が生じていた カンヴァスが薄く、全体に劣化 保護膜の劣化変質 | 新しいカンヴァスによる全面裏打 画面の洗浄 微細な剝落箇所の補彩 保護膜の塗布 |
| | 〔修復：絵画修復家 黒江光彦〕 | |

5. 展覧会貸付作品 Works Lent Out

| 展覧会名／会期／会場 | 所蔵作品番号／作家名・作品名 |
|---|--|
| Slewinski 13 June—19 September 1981 Musée de Pont-Aven | P・1959-107 ゴーガン 《スレヴィンスキーの肖像》 |
| 「印象派 パリと日本」 1981年10月2日～11月8日 富士美術館 | P・1959-1, 2 アマン＝ジャン 《二人の婦人》, 《帽子を被った少女》 P・1959-113, 115 ローラン 《美しい肩》, 《しゃくやく》 P・1959-129, 138 マルタン《ラ・バスティードの聖堂》, 《テラス》 |
| 「印象主義 フランスと日本」 1981年10月25日～11月29日 栃木県立美術館 | P・1965-4 モネ 《小雨降る池》 P・1978-2 ルノワール 《バラをつけた女》 |

Chaim Soutine

13 December 1981—27 February 1982

Westf. Landesmuseum für Kunst und
Kulturgeschichte, Münster

26 March—31 May 1982

Kunsthalle, Tübingen

P・1960-1

スーティン 《狂女》

Paul Cézanne—Aquarelle

17 January—21 March 1982

Kunsthalle, Tübingen

D・1959-7, 9

セザンヌ 《舟にて》, 《勝利》

「ジャン・デュビュッフェ展」

1982年1月2日～2月21日

西武美術館（東京）

1982年2月26日～3月28日

国立国際美術館

P・1979-3

デュビュッフェ 《美しい尾の牝牛》

Cézanne

12 March—9 May 1982

Musée Saint-Georges, Liège

D・1959-6

セザンヌ 《水差しとスープ容れ》